

事務事業名	雲南市さくらの会補助事業		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
政策名	総合計画体系	(II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	商工振興グループ	課長名	中村清男
施策名		(05)自然環境・景観の保全	担当者名	竹下博昭	電話番号(内線)	0854-40-1054
基本事業名		(014)景観の保全と創造	予算科目	会計 款 項 目 中事業	01 3 0 1 2	3715

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	雲南市が行う日本一のさくらのまちづくり事業を支援し、さくらの保育管理事業や植栽事業を実施する雲南市さくらの会に補助金を交付する。また、雲南市さくらの会事務局業務は産業振興部商工観光課で実施している。	昭和44年に旧木次町において桜が町のシンボルになったのを契機として、昭和48年「健康の町木次さくらの会」が結成。官民協働の愛護活動としてさくらのまちづくり事業が取り組まれた。雲南市合併後もこの活動が継承され、平成17年に「雲南市さくらの会」が発足した。

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)								
さくらのまちづくり事業	11,900千円	事業費						
※財源は雲南市木次さくらのまちづくり基金 雲南市さくらの会補助金 10,000千円		財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	10,000	11,864	10,000	10,000	
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	10,000	11,864	10,000	10,000	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)		人件費						
ア 雲南市さくらの会補助金交付一連業務		正規職員従事人数	人	2	3	2		
イ 雲南市さくらの会事務局業務(会議開催、会計業務、桜管理、さくら守連携など)		延べ業務時間	時間	1,200	1,400	1,200		
		人件費計(B)	千円	4,577	5,443	4,730	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	14,577	17,307	14,730	10,000	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	ア さくら保育管理、植栽、苗木育成事業	ア さくらの会会員数	人	609	603	611	650		
	イ 技術指導事業、PR事業	イ 研修会等の回数	回	6	6	2	4		
	ウ 総会、理事会、記念事業の開催 など	ウ 桜植栽本数(延べ本数)	本	108,675	108,800	108,892	109,000		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)								
	さくらのまちづくりに関する事業に加え、雲南市さくらどころマップ作成。								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	雲南市の景観 雲南市さくらの会会員	⑥ 対象指標							
		ア 桜植栽本数(延べ本数)	本	108,675	108,800	108,892	109,000		
		イ さくらの会会員数	人	609	603	611	650		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	雲南市の花である「桜」の住民参加型保護育成活動により美しい景観を守り、創造する。	ア 桜植栽本数(延べ本数)	本	108,400	108,675	108,800	109,000		
		イ さくらの会会員数	人	609	603	611	650		
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	美しい景観を守り、創造する。	ア 市内が美しい景観だと感じている市民の割合	%	81.3	81	79.3	82		

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
「雲南市さくらの会」発足により事業範囲が全市での取り組みとなっているが、現状では会員の多数が木次町の住民であり全市的な会員数の拡大に向けた取り組みが必要とされる状況へと変化している。	雲南市さくらの会会員拡大に努めており、自主財源の増加に繋がっている。	雲南市さくらの会補助金は旧木次町からの3億円の特定目的基金が原資であるため将来的な基金維持について関心が高く、会員数の少ない木次町以外からの会員からの会員獲得の手段・方法等に意見が多い。また、今後全市的な桜の管理をどうするのか、木次町以外の会員から意見が出されている。

事務事業名	雲南市さくらの会補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 雲南市さくらの会事業は、雲南市の花である桜の愛護活動を行っており、市の基本施策「自然環境の保全」の基本施策に位置付けられた「日本一さくらのまちづくりの推進」にもつながっており、市の政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 市の政策として日本一さくらのまちづくりを推進しており、市内への桜の普及・桜の管理等を実行する上で重要な団体であり、市の役割として妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 特に限定・追加等は必要ないと思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 専門的な管理内容について、「斐伊川堤防桜並木」の実施例を市内に拡大していけば、成果の向上が図れる。また、会員数が増加すれば、会費収入が増加し会の活動が活発化する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 年間を通した桜管理事業により雲南市桜まつりが観光事業の中では最も集客力のあるイベントとなっており、この補助事業を廃止・休止した場合、その影響は計り知れないものがある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 他に類似事業がないため、統廃合・連携等は難しい。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現状では、事業費の大部分を占める専門的管理について、桜守や専門業者への管理委託が不可欠であり、事業費削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 会の事務局をNPO法人等に委託すれば人件費の削減が図れるが、当面は、市で事務局を持たなければならないと思われる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 会の補助金は、旧木次町で造成された特目基金が原資である。したがって、管理事業費の投入は木次中心となり、他地域からは不満感がある。一方で、木次町以外の会員加入が少ない現状である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	雲南市のまちづくりのシンボルとして「さくら保育管理事業」は必要不可欠であるが、財源や会員数の確保・拡大等において課題が多く、今後の進め方について検討が必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			●																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 「日本さくら名所100選」斐伊川堤防桜並木がどうしても中心となるが、市内全域に雲南市の花である桜を広めるため、財源活用の問題や会員拡大に向けた具体的な取り組みなどについて、検討が必要である。																									